

2018年度 課題図書一覧

低学年(1・2年生)

●おさるのこうすけ



武田美穂(作) 童心社 税込1,404円

●おならまんざい

長谷川義史(作) 小学館 税込1,404円



●お化けのおもてなし

川端誠(作) BL出版 税込1,404円



●くれよんがおれたとき

かさいまり(作) くもん出版 税込1,512円



●小学生まじよとおしゃべりなランドセル

中島和子(作) 金の星社 税込1,296円



●もじゃもじゃヒュー・シャンプー

カレン・ジョージ(作) 鈴木出版 税込1,620円



中学年(3・4年生)

●きくち駄菓子屋

かさいまり(作) アリス館 税込1,296円



●キダマッチ先生!

1. 先生 かんじゃに のまれる

今井恭子(作) BL出版 税込1,404円



●さるとびすすけ 愛とお金とゴキZのまき

みやにしたつや(作) ほるぷ出版 税込1,058円

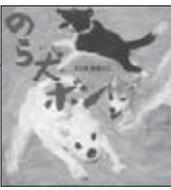


●天馬のゆめ

ばんひろこ(作) 新日本出版社 税込1,512円



●のら犬ボン



たじまゆきひこ(作) くもん出版 税込1,728円

●ほくたちのおぼけ沼

「ひとりぼっち」の友情物語

中村淳(作) 汐文社 税込1,512円



高学年(5・6年生)

●オレ さすらいの転校生

吉野万里子(作) 理論社 税込1,080円



●正義の声は消えない 反ナチス・白バラ抵抗運動の学生たち

ラッセル・フリードマン(作) 汐文社 税込1,620円



●ペンダーウィックの四姉妹 海辺の音楽

ジーン・パースオール(作) 小峰書店 税込1,836円



●星につたえて



安東みきえ(作) アリス館 税込1,620円

●ものだま探偵団4 わたしが、もうひとり?

ほしおさなえ(作) 徳間書店 税込1,728円



●笑う化石の謎

ビッパ・グッドハート(作) あすなる書房 税込1,620円



大阪読書推進会

2018 第14回

大阪本の帯創作コンクール

課題図書決定

協賛出版社は14社に

読書推進委員会の報告

日頃は、読書推進の活動、作業にご協力下さいまして有難うございます。書店、取次、版元、業界の皆様と、朝日新聞社と協力して、事業を展開してまいりました。おかげさまで、「本の帯創作コンクール」は2005年から始まり、今年で14年目を、「読書ノート」運動は2004年から始まり15年目を迎えました。読書ノートは毎年5万冊作製して、大阪府内の申込があった小学校に配布しています。年2回、春と秋に、本を100冊読んだ小

学1~4年生の名前が朝日新聞デジタル版、50冊読んだ5・6年生の名前は朝日新聞大阪版とデジタル版に掲載されます。各地での運動が広がってきました。堺市や河内長野市に加えて、八尾市や大阪市平野区でも独自に読書ノートを作成され、小学校に配布されています。今年の本の帯創作コンクール」は募集を9月3日で締切、表彰式、展示会場は11月10日(土)、大阪府立中央図書館ライティホールと同多目的室で開催の予

定です。毎年、1万点以上の応募作品が集まります。昨年の参加校数は298校でした。朝日新聞社の協力で、近年他府県からの応募も増えてきました。全国的な広がりを期待したいと思っています。又、地域版の展示会を大阪市、堺市、茨木市で実施、府下全域版を大阪府立中央図書館でも開催しました。それ以外の地域でも、作品パネルの有効活用をお願いします。今年の本の「帯コン」課題図書の販売と陳列コンクールにご協力をお願いします。又、店頭で個人応募の申し

込みがあれば、事務局までご連絡して下さい。書店にとって、読書推進事業は、将来の読者、お客様を育てる、市場を育てる、息の長い事業です。すぐには成果の見えない、長いスパンの事業です。大阪発の読書推進運動を、是非とも安定して継続出来る様、ご支援をお願い致します。本の販売をおとして地域の人の知的活動のお手伝いをして、という社会的責任と自負を持って活動していきたいと思致します。ご協力をお願いします。読書推進委員会 委員長 虎谷健司

大阪読書推進会総会

本の帯創作コンクールを 継続させていきたい



宮川会長の挨拶

大阪読書推進会は総会を6月20日朝日新聞大阪本社12階会議室にて開催、共催社の朝日新聞大阪本社、出版社、在阪取次、書店を合わせて17名が出席した。司会を大阪組合深田健治副理事長が行い、大阪組合副理事長戸和繁晴大阪読書推進会実行委員長が「一昨日は、大阪では観測史上初の震度6弱という地震が起き、北摂・三島地区を中心に棚から本が散乱したり、棚が倒れたり、スプリングラーの誤作動で本が濡れたとの連絡があり欠席をされた委員がある中で、ご出席して頂き感謝します」と開会の挨拶を行った。

続いて大阪読書推進会の宮川健郎会長(大阪国際児童文学振興財団理事長・武蔵野大学教授)から「今年の表彰式は大阪府立中央図書館ライティホールで開催されますが、同じ図書館内の別の会場で、あまんきみこと富安陽子に関する展示を、開催予定だと聞いています。あまんさんは国語の教科書に一番載っている作家さんで、富安さんは売上げが一番ある作家さんだと思います。帯コンの作品展とこの展示会を一緒に見て頂きたい」とし、「今年は大正7年に創刊された『赤い鳥』の創刊100年となります。様々な催し物が全国で実施されますが、今年も帯コンを宜しくお願ひします」と挨拶した。朝日新聞大阪本社桑山朗人編集局長補佐から「新聞業界も厳しく、積極的に討って出る事が出来にくい状況下で智慧の上手な使いどころを工夫しながら読書推進を進めたい」と挨拶した。出席者の自己紹介のち、事業報告・事業計画・会計報告・収支予算案を審議し承認された。閉会にあたり大阪出版協会の理事の落合直也BL出版代表取締役社長は「子どもたちの帯の作品を見ていると、出版社の編集者よりもいい帯を描いています。子ども達の挨拶に胸を打つものがあり、この活動をもっと続けて行ける様に朝日新聞社さんと協力をしていきたい」と閉会の辞を述べた。